

甲府「キッズU-10・地域リーグ8」 2013年参加希望取りまとめ

チーム名		複数 エントリー	レベル						
			希望	3年	2年	1年	計	責任者	TEL
1	UスポーツクラブA		A	29	22	21	72	山根雄大	080-3779-2981
2	UスポーツクラブB	○	A						
3	山城SSS		A	10	7	10	27	高坂厚志	090-1421-7909
4	レドンドFC A		A	11			11	斉木和人	080-5038-3554
5	VF甲府U-12		A					西川陽介	090-5339-6381
13	甲府相川JFC		A	8	8	3	19	藤本和久	090-8725-7569
6	石田SSS A		B	10	4	14	28	葉袋一	090-7705-6585
7	貢川SSS		B	11	1		12	塩野正春	090-1110-9695
8	池田SSS		B	7	3		10	内藤健実	090-4178-8627
9	大里SSS		B	10	11	2	23	田中克彦	090-2522-0767
10	国母SS		B	11	7	6	24	流石正廣	090-1882-3136
11	伊勢SSS		B	11		1	12	市村洋	090-3139-7166
12	レドンドFC B	○	B	10			10	浅川貴	090-1253-3544
14	玉諸SSS		C	2	6	5	13	奥山強	090-9344-6254
15	石田SSS B	○	C						
16	甲府大国01JFC		C	6	3	1	10	許山敏	080-5417-3948
17	羽黒SSS		C	9	10	5	24	埴原富士男	090-8438-4470
18	FCジョーカーレ		C	4	14	3	21	鈴木和幸	090-8110-2710
19	新紺屋朝日SSS		C	6	3	2	11	宮沢謹吾	090-1113-3209
20	中道セレソンSS		C	9	6	2	17	桑原秀明	090-4065-0562
21	JFC青桐		欠						
22	舞鶴JFC		欠						
23	甲府東SSS		欠						
24	中央湯田ジュニア		欠						
25	甲府里垣FC		欠						
26	武田消毒ジェイド		欠						
27	アバンソFC		欠						

U-10大会実施までのスケジュール

平成25年

1月9日 (水) 甲府4種代表者会議
実施要綱の確認と変更点について聴取

～1/31 実施要綱・リーグカレンダーの配布と公開及びアンケート実施
アンケートの回収

アンケート集計と組合せ作成 参加チームへメール添付通知

2月22日(金) グループ会議 〈甲府代表者会議〉

① 期日：平成25年7月20日(土) 小瀬球技場

② 期日：平成25年7月28日(日) 小瀬球技場

③ 期日：平成25年9月21日(土) 小瀬球技場

④ 期日：平成26年1月26日(日) 小瀬球技場

※小瀬球技場使用後は必ずグラウンド整備を
お願いいたします。(使用した部分)

・甲府種委員会による会場確保については日曜日を基本としますが、年間会場予約状況により土曜日開催も選択肢に入れさせていただきます。

・会場は、小瀬球技場・韮崎旭グラウンドを予定しています。

・各グループでの会場確保によりリーグ戦カレンダー以外の実施も可能です。

と2013実施の検証と2014ガイドライン・カレンダー検討

平成25年4月～8月 前期リーグ(可能であれば7月までを目安として)

平成25年8月 後期グループ分け

平成25年9月～平成26年2月 後期リーグ

平成26年
～1/31 アンケートの回収

アンケート集計と組合せ作成

実施要綱・組合せ及びリーグカレンダーの配布と公開

2月 グループ会議 〈甲府代表者会議〉

2013 甲府 キッズU-10地域リーグ8 試合実施のガイドライン

山梨県サッカー協会・甲府4種委員会

目的・実施要項・共有	U-10地域リーグの目的
	<p>キッズ年代(U-10及びU-9以下)試合機会の確保。 8人制サッカーによる年間を通じたリーグ戦を実施することにより、キッズ年代における重要な育成の機会とするとともにサッカーファミリーの拡大にもつなげる。4種年代のサッカー環境をより良いものとする。</p>
	実施要項
	<p>① 名称 「キッズU-10・地域リーグ8」</p> <p>② 主催 甲府4種委員会</p> <p>③ 主管 甲府4種委員会・事業運営部</p> <p>④ 期間 平成25年4月～平成26年2月の期間とし、リーグ戦デーを設定し年間を通じてリーグ戦を行う。</p> <p>⑤ エントリー資格 2013年度4種登録チーム及び甲府4種委員会が認めるチーム。 参加チームはエントリー表を提出する。(書式)</p> <p>⑥ 複数エントリー 可能とする。3年生以下のチームも認める</p> <p>⑦ 大会規則 山梨U-12リーグ実施のガイドラインに準ずる。キッズ年代を考慮し一部U-10地域リーグ規則を設ける。</p> <p>⑧ グループ編成 【前期】 自己申告による3段階のレベル設定を行いグループリーグを編成する。 グループはA(上位)、B(中位)、C(下位)とし、各10チームを基本とするが参加数により調整する。 【後期】 あらためて参加意志を確認し、前期の成績を基に自己申告による3段階のグループ分けを行う。レベル間の移動チーム数は設定しない。最終的なレベル設定・グループ編成は運営委員が決定する。</p> <p>⑨ 試合方法 レベル分けしたグループによる2シーズン制のリーグ戦を行う。 前期を4月～8月とし、後期9月～翌年2月とする。</p> <p>⑩ 会場確保 予め甲府4種委員会が可能な限り会場確保を行うことでスムーズな運営が実施されるように配慮します。</p>
	8人制サッカー
	<p>この年代に応じたサッカーとして次のアプローチがポイントになります。</p> <p>○ボールタッチ数が多い ⇒ つねに関わることで技術の向上につながります。</p> <p>○プレー回数が増える ⇒ 判断回数が増え成功と失敗を繰り返して成長します。</p> <p>○11人制より観るものが減る ⇒ 判断がクリアーになり、理解しやすくなります。</p> <p>○GK含めどのポジションでも攻守に関わり続ける ⇒ サッカーの基本を理解していきます</p> <p>○ゴール前の攻防が増える ⇒ 楽しい場面、わくわくします。</p>

試合の実施	8人制サッカールール														
	1 競技のフィールド <p>① 大きさ タッチライン(60~68) × ゴールライン(40~50) *各グループにおいて協議の上会場に応じたピッチ設営を行ってよいものとするが、60×40を推奨ピッチとする。</p> <p>② エリア等</p> <table border="0"> <tr> <td>・ペナルティーエリア</td> <td>=</td> <td>12m</td> </tr> <tr> <td>・ペナルティーマーク</td> <td>=</td> <td>8m</td> </tr> <tr> <td>・ペナルティアーケ(半径)</td> <td>=</td> <td>7m</td> </tr> <tr> <td>・ゴールエリア</td> <td>=</td> <td>4m</td> </tr> <tr> <td>・センターサークル(半径)</td> <td>=</td> <td>7m</td> </tr> </table> <p>③ ゴール 少年用ゴール:内幅(5m) × 内高さ(2.15m) を推奨する。</p> <p>④ 交代ゾーン ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける ・ハーフウェーラインを挟んで3mずつ。</p>	・ペナルティーエリア	=	12m	・ペナルティーマーク	=	8m	・ペナルティアーケ(半径)	=	7m	・ゴールエリア	=	4m	・センターサークル(半径)	=
・ペナルティーエリア	=	12m													
・ペナルティーマーク	=	8m													
・ペナルティアーケ(半径)	=	7m													
・ゴールエリア	=	4m													
・センターサークル(半径)	=	7m													
試合の実施	2 ボール ・少年用4号球を基本とする。														
	3 競技者の数 <p>① 8人(うち1人はゴールキーパー)を基本とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームは7名のフィールドプレーヤーと1人のゴールキーパーからなる。 ・試合開始の成立は、キックオフ時に8人がそろっていることが必要。 <p>ただし、試合中に欠員が生じた場合は、7名でも成立する。6名以下となった場合にはその試合は不戦敗の扱いとなります。</p> <p>② 交代できる要員の数は制限しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由な交代を活用して多くの選手にプレー機会を与えるよう心がけましょう。 <p>③ メンバー票・選手証について 試合開始前に本部に提出してください。(選手証が無い場合提示は不要)</p> <p>④ 交代の手続き</p> <p>(1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンから外に出ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怪我をした場合はこの限りではありません。 <p>(2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となります。</p> <p>(3) 交代については、補助審判の用具確認を得てから、インプレーアウトオブプレーにかかわらず行うことができます。</p> <p>ただし、ゴールキーパーの交代は、事前に主審に告げアウトオブプレー中に行います。</p> <p>(4) 交代要員はビブスを着用し、交代手続きは、ビブスの受け渡しをもって行います。</p>														

4 競技者の用具（基本的な規定はこれまでと変わりません。）

- ① 両チーム異なる色彩のユニフォーム(シャツ)を着用する。
- ② 両チームが予め着用する色を話し合いで決めましょう。最終的には主審の判断により着用する色彩を決める。
- ③ 異なるユニホームが用意できない場合はビブスでの代用を認めます。
- ④ ゴールキーパーのユニフォームの色彩は、両チーム同じでもよい。
- ⑤ 競技者の用具はその競技者のみならず相手競技者にも安全なものでなければならず、試合開始前に競技者、交代要員の用具が主審、または補助審判によって検査されます。眼鏡については、主審が安全であると判断したものは着用できます。

5 主審

- ① 試合は、1人の審判によって運営される。（当該チームの試合審判を前後半交代で実施）
選手ばかりでなく指導者や保護者も含め、互いにリスペクトしてゲームを成り立たせていく。
審判から見える見えないにかかわらず、選手はフェアプレーの精神を尊重して全力でプレーする。自己申告に努め、ゲームを協力してスムーズに進めるよう務めましょう。審判にとっては、ゲームを読み全体をコントロールしていくことを心がけることで審判能力の向上につながります。
- ② 主審は、フェアプレー精神あふれる行動やリスペクトのある行動をとった競技者に積極的にグリーンカードを示しましょう。
・グリーンカードは、試合開始前から試合中、試合終了後であっても、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず示すことができます。

6 補助審判

- ① 試合には、補助審判1名を指名（当該チームの審判を前後半交代で行う）
- ② 補助審判の任務は次のとおりとする。
 - (1) 主審によって要請された試合前、中、後の管理上の任務を援助する。
 - (2) ボールの交換を管理する。
 - (3) 交代選手の用具を確認し、手続きが円滑に行われるよう、主審を援助する。
 - (4) チーム、競技者が試合中にフェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動をとっていたのを見た場合、主審に知らせ、主審がグリーンカードを示す援助しましょう。

7 試合時間

- ① 前、後半それぞれ15分とする。
- ② ハーフタイムは、5分とする。

8 一日の試合数

- ・ **本リーグにおける1チームの試合数は、1日2試合を限度とする**
- ・ MTMを意識し、課題の抽出・改善や修正への取り組みを行うが大切であるということを共有しましょう。

試合の実施	9 プレーの開始及び再開 <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフから直接相手のゴールに入った場合は、相手にゴールキックが与えられます。
	10 ファウルと不正行為 <ul style="list-style-type: none"> ・競技者が退場を命じられた場合は、交代要員の中から競技者を補充することができます。
	11 フリーキック <ul style="list-style-type: none"> ・ボールがインプレーになるまで相手競技者は7m以上ボールから離れなければなりません。
	12 スローイン <ul style="list-style-type: none"> ・競技者は、スローインが行われる地点から2m以上ボールから離れなければなりません。
	13 コーナーキック <ul style="list-style-type: none"> ・ボールがインプレーになるまで相手競技者はコーナーアークから7m以上離れなければなりません。
リーグの運営	グループ運営 <ul style="list-style-type: none"> ・グループリーダー・サブリーダーを選任しましょう 連絡網を作成しグループリーダーを中心に全チームの協力により運営をしましょう。
	帯同する指導者、チーム役員 <ul style="list-style-type: none"> ・本リーグ戦の試合に帯同する指導者、チーム役員は、チーム引率者(監督者)、帯同審判員であること。 <ol style="list-style-type: none"> ① チーム引率者(監督者)とは、チームを試合日に引率する責任者であって選手の体調、行動、並びにチーム関係者の行動等について管理監督する者であり、チームを総括し、試合の運営に協力するとともに、リーグ運営に協力する。 ② 帯同審判は、4級審判以上の資格を有すること ③ 帯同審判は、主審または補助審判を務める試合が自己チームの試合の実施の支障とならない場合のみチーム責任者(監督者)が兼務することができる。
	指導者の資格 <ul style="list-style-type: none"> ・複数エントリーを行う際はそれぞれのチームが独立したチームとして扱われ、それぞれのグループ運営に参加することが必要です。複数エントリーをする場合は、それぞれにチーム責任者を選任し、グループ運営に対し協力、責任を負う体制を整えておきましょう。 ・本リーグへの参加にあたっては、必ず1名以上のチーム指導者が必要です。必ずしもJFA指導者資格D級以上の取得者でなくても良いが、選手ならびに指導者育成の観点からも有資格指導者が望ましい。
	一人審判法 <ul style="list-style-type: none"> ・JFA「8人制サッカールールと審判法」8ページ～13ページを参考にするとともに、審判部の見解「8人制審判法について」追加事項を理解し、審判だけでなく、選手、チーム役員、保護者の協力のもとにスムーズな試合運営に取り組みましょう。

リ ス ペ ク ト	大切に思うこと(リスペクト・大好きなサッカーを毎日楽しむために大切なもの)
	<ul style="list-style-type: none">・ サッカーに敵はいない、対戦相手は敵ではなくサッカーを楽しむための大切な仲間・ 試合のはじめに相手の目を見てしっかり握手する。リスペクトの証として・ 「おこられるからやらない」より「いいことだからやる」グリーンカードは良いことを誉めること・ 大会ができるようにお世話してくれる人にありがとう・ コーチはコーチに任せる。判定はレフェリーに任せる。プレーは子どもたちに任せる。・ もっといいコーチになりたいから勉強する。・ みんなのいいプレーに拍手。相手チームだって同じ。

U-10大会実施までのスケジュール

平成25年

1月9日 (水) 甲府4種代表者会議
実施要綱の確認と変更点について聴取

～1/31 実施要綱・リーグカレンダーの配布と公開及びアンケート実施
アンケートの回収

アンケート集計と組合せ作成

参加チームへメール添付通知

2月22日(金) グループ会議 〈甲府代表者会議〉

① 期日：平成25年7月20日(土) 小瀬球技場

② 期日：平成25年7月28日(日) 小瀬球技場

③ 期日：平成25年9月21日(土) 小瀬球技場

④ 期日：平成26年1月26日(日) 小瀬球技場

※小瀬球技場使用後は必ずグラウンド整備を
お願いいたします。(使用した部分)

・甲府種委員会による会場確保については日曜日を基本としますが、年間会場予約状況により土曜日開催も選択肢に入れさせていただきます。

・会場は、小瀬球技場・韮崎旭グラウンドを予定しています。

・各グループでの会場確保によりリーグ戦カレンダー以外の実施も可能です。

と2013実施の検証と2014ガイドライン・カレンダー検討

平成25年4月～8月 前期リーグ(可能であれば7月までを目安として)

平成25年8月 後期グループ分け

平成25年9月～平成26年2月 後期リーグ

平成26年

～1/31 アンケートの回収

アンケート集計と組合せ作成

実施要綱・組合せ及びリーグカレンダーの配布と公開

2月

グループ会議 〈甲府代表者会議〉